

市議会 だより

ぶぜん

No. 70

平成22年11月

目次 CONTENTS

- 平成22年9月定例会 議案審議結果 …………… 2P
- 議案の概要 …………… 3P
- 平成21年度決算の状況 …………… 4～5P
- 一般質問 …………… 6～11P
- 他市からの視察来庁・編集後記 …………… 12P



第21回福岡県消防操法大会

平成22年9月5日 福津市消防学校にて

議会へのご意見をお寄せ下さい

豊前市大字吉木955 TEL.82-1111 内線1311
<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

平成22年9月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果	
議案第45号	豊前市消防団条例の一部改正について	総 務	全会一致	可決
議案第51号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について	総 務	全会一致	可決
議案第52号	豊前市消防委員会条例の制定について	総 務	全会一致	可決
議案第53号	豊前市立多目的文化交流センターの設置及び管理運営に関する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第54号	字の区域の変更について	総 務	全会一致	可決
議案第55号	豊前市道路線の認定について	産業建設	全会一致	可決
議案第56号	豊前市道路線の変更について	産業建設	全会一致	可決
議案第57号	平成22年度豊前市一般会計補正予算（第2号）	全委員会	全会一致	可決
議案第58号	平成21年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	全会一致	認定
議案第59号	平成21年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第60号	平成21年度豊前市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第61号	平成21年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第62号	平成21年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第63号	平成21年度豊前市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第64号	平成21年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第65号	平成21年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第66号	平成21年度豊前市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第67号	平成21年度豊前市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第68号	平成21年度豊前市東部地区工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	全会一致	異議なし

議案の概要

平成22年第3回定例会は、9月2日から9月22日までの21日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例3件、予算1件、決算11件、その他の案件3件の合わせて18議案が提出され、それぞれ所管の常任委員会等で慎重に審査され、すべての議案が原案どおり可決されました。

なお、6月議会から継続審査になっていた議案1件は修正可決されました。

また、市長より人権擁護委員の推薦に関する諮問案1件が出され、市長提案のとおり同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしということになりました。

(敬称略)

※人権擁護委員の候補者

豊前市大字大村

大貫 久美子

豊前市大字四郎丸

重松 英人

継続審査分

『消防団条例』については、議会により修正可決されました!!

当初、執行部より消防団員の年齢要件を**65歳**に引き上げる議案でありましたが、総務委員会で審議の結果、消防団員の年齢要件は現行どおり**60歳**のままとし、市長が特に必要と認めるときは60歳以上でも可能とする条例に修正可決されました。

《平成21年度決算に基づく健全化判断比率の状況》

財政悪化が進む地方公共団体の財政破たん（倒産）を未然に防ぐために、毎年財政状況をチェックし、早期に財政の健全化に取り組めるようにしたものです。

◆早期健全化基準を超えると……………？

「財政健全化計画」を策定し、計画に基づく財政健全化を行います。

◆財政再生基準を超えると……………？

破たん状態となり「財政再生計画」を定め、国等の関与による財政再建に取り組めます。

財政指標名	豊前市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.11	20.00
連結実質赤字比率	—	19.11	40.00
実質公債費比率	14.7	25.0	35.0
将来負担比率	117.3	350.0	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率において実質収支が黒字の場合、当該比率「—」で表示

『多目的文化交流センター』の設置及び管理運営に関する条例が制定されました!!

地域文化の伝承及び発展を図り、また、民俗芸能の上演や発表会等を行うため、10月31日 築上北高跡地に『多目的文化交流センター』が開館します。



平成21年度 会計別決算状況

(単位:千円)

会計名		歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度へ繰り越 すべき財源(D)	実質収支 (C-D)
一般会計		12,831,204	12,595,552	235,652	92,123	143,529
特別 会計	国民健康保険事業	3,796,359	3,357,141	439,218	0	439,218
	老人保健	7,258	5,635	1,623	0	1,623
	後期高齢者医療事業	370,199	360,495	9,704	0	9,704
	住宅新築資金等貸付事業	5,943	40,325	△ 34,382	0	△ 34,382
	公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0
	豊前市営駐車場事業	6,993	6,362	631	0	631
	豊前市バス事業	37,879	37,879	0	0	0
合計		17,055,835	16,403,389	652,446	92,123	560,323

平成21年度 公営企業会計決算状況

(単位:千円)

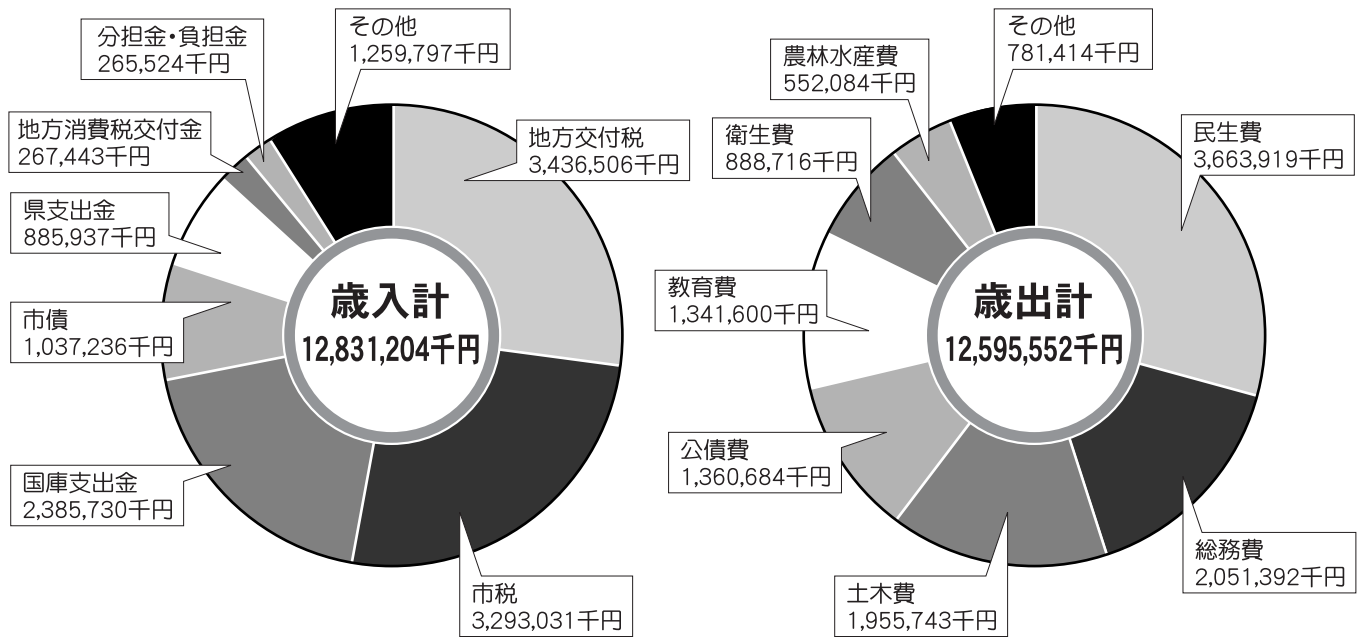
会計名 収支	水道事業	公共下水道事業	農業集落排水 施設事業	東部地区工業 用水道事業
収益的収入	532,755	391,306	19,617	22,075
収益的支出	489,971	470,655	39,928	17,282
差引額	42,784	△ 79,349	△ 20,311	4,793

※ 水道事業は黒字になっているものの、一般会計からの繰入金が6,200万円含まれています。

※ 水道事業は平成21年度末で、約2億8,254万円の累計赤字を抱えています。

※ 公共下水道事業及び農業集落排水施設事業は、赤字解消に向けた取組みが急務です。

平成21年度 一般会計決算状況



平成21年度の主な事業

教育・文化の振興



埋蔵文化財センター

住環境の整備



定住促進住宅

農林業の振興



林道豊築松尾線
(供用開始は平成23年度の予定)

道路・街路の整備



四郎丸～野田線
(供用開始は平成23年度の予定)

平成22年第3回(9月)定例会 一般質問

9月9日(木)			9月10日(金)		
ぶぜん風の会	山本章一郎 尾澤満治 岡本清靖	東九州自動車道の進捗	新 世 会	山崎廣美 秋成茂信 今本文徳	学力の向上
		新産業ゾーン(旧北高跡地)の その後の経過			介護保険制度
		新しい観光づくり			有害鳥獣対策 耕作放棄地対策
豊友会	磯永優二 中村勇希 榎本義憲	安心して定住できる住宅政策	健 友 会	吉永宗彦 尾家啓介 古川哲也	職業訓練センターの存続に向け たその後の状況
		安心して受けられる教育			定住自立圏の動き
		中山間地域のコミュニティ活動			消防について
同志会	渡邊 一 岡田義則 爪丸裕和 福井昌文	円高による豊前市の企業への 影響	無 会 派	鎌田晃二	公営企業業務の外部委託
		魅力あるまちづくり			消防団配属の消防車
		土木・建築工事			高齢者問題
		水道事業			公契約条例
		学校教育			市立図書館
		環境問題			高齢者の諸問題
		市民プールの運営			社会基盤老朽化への備え
		豊前市の財政問題			

山本議員 東九州自動車道と既存の道路が交差する部分のトンネルの安全対策、防犯対策につ



東九州自動車道工事現場

山本議員 東九州自動車道の供用開始はいつ頃になるのか。建設課長 現在、用地交渉を行っており、椎田南から宇佐の区間で進捗状況は75%となっている。計画では平成28年の供用開始となっているが、平成26年の供用開始を目指して鋭意努力している。

東九州自動車道の進捗

ぶぜん風の会の質問

山本議員 新産業ゾーン(旧北高跡地)のその後の経過

山本議員 新産業ゾーンは、中心商店街と共存共栄のために、どのような人の流れをつくらうとしているのか、お聞かせ願いたい。

まちづくり課長 郵便局から旧図書館へ通じる都市計画道路「上町・杵川池線」を23年度までに開通させ、そこから図書館等の文化ゾーンや商業ゾーンに入る通路を整備する計画だ。その後、駅から東八商店街から旧北高跡地へ通じるルート等について検討したい。

尾澤議員 旧北高跡地の活用として、図書館等の公共施設と商業ゾーンの一体利用をどのように考えているのか、お聞きしたい。

まちづくり課長 旧北高跡地全体で通路等を計画し、駐車場の一体的利用を行うべく協議している。また、商業ゾーンと文化ゾーンの隣接地には、イベント等が行なえるような多目的な広場等の設置計画がある。

新産業ゾーン(旧北高跡地)のその後の経過

建設課長 トンネル内の照明等については、完成後に状況を確認して、西日本高速道路株式会社と協議していきたい。

新しい観光づくり

尾澤議員 豊前市にインターチェンジができ、そこから10号線までの道路を造ると聞いている。今回、多目的文化交流センターができ、その中に神楽殿なども設置するのだから、観光客を市内に入り込ませるための施策を検討してみてもどうか。

総合政策課長 京築神楽伝統文化会館を多目的文化交流センターに併設するよう計画している。そこで、京築の芸能や文化等を紹介し、併せて、豊前市の観光名所等のPRをしていきたい考えた。

安心して定住できる住宅政策

尾澤議員 今、民間ではペットとの入居可能なアパートがあるみたいだ。癒しや生きがいのため、ペットを飼っている高齢者がいるが、既存公営住宅の一部を専用にできないのか。

建設課長 上町団地等の公営団地では、基本的に飼われないようになっている。しかし、臭いや鳴き声などの問題もあり難しいと思うが、定住促進住宅活用

委員会を検討していきたい。

尾澤議員 合河・岩屋地区のインターネットは、いまだにADSLである。今後は、防災関連でも光ファイバーによる高速通信が必要と思うが、合河・岩屋地区に設置する計画はないのか。

総合政策課長 現在、国が全国光ファイバー化構想を打ち出している。財政支援等を含め国の動向を見守りながら、民間と協議していきたい。

安心して受けられる教育

尾澤議員 市内のある中学校では下校時間が早いみたいだ。中学校での年間授業時数は980時間と聞いているが、その時間数は確保できているのか、お伺いしたい。

教育長 毎年度末に、1年間の授業数の報告が校長よりある。昨年度は980時間を超えているとの報告であった。本年度分については、計画通りに授業をしているのか確認したい。

尾澤議員 もし、確保できていないのならば、市教委より指導をお願いしたい。また、いじめ対策について、吉富では常にアンケート等を取り、いじめ防止に取り組んでいる。豊前市でも

いじめ防止に誠心誠意取り組んでいたきたい。

中山間地域のコミュニティ活動

岡本議員 豊前市全体で人口が減少しているが、特に中山間地域の人口が減少している。農業離れも多くなってきたようなので、農家民泊や空き家対策等を活用して人口増対策を図ってはどうか。

市長 全国的に、人口増対策が一番難しいのは山間部と離島である。その山間部に住んでもらうためにはどうすればよいのか、アイデアを出して人口増対策に努めたい。

岡本議員 公民館や郵便局を利用し、住民票等の交付や税金の納付ができるような取り組みを実施し、地域の活性化を考えてほしい。

円高による豊前市の企業への影響

山本議員 市内の農家にも、円高による影響が出ていると思うが、市の対応をお聞きしたい。

農林水産課長 逐次、JAと協議しているが、今のところ農業

関係への影響はないとのことだ。今後、資材関係などで影響が出てきたら、関係機関と協議して対応したい。

岡本議員 円高により市内の企業の業績が落ち込み、解雇や休職などの雇用問題が発生していないのか、お聞きしたい。

まちづくり課長 市内の企業に問い合わせたところ、円高による大きな影響は今のところないとのことだ。ただ、自動車関連ではエコ減税等の補助金が終了するので、今後は受注量が減少するだろうということだ。

豊友会の質問

魅力あるまちづくり

榎本議員 若者が定住するためには、魅力あるまちづくりは欠かせない。ただ、豊前市の場合よその市町村がしているから、後追いでやるということが多くないように感じられる。この点について、どう思うか。

市長 遅れることなく、真ん中くらいでいきたい。豊築は一つ

という意識で勇気をもって進めていきたい。

榎本議員 街路事業や湾岸道路事業など、豊前市独自で進めるには厳しい事業については、県や広域市町村圏事務組合などに強く働きかけをして、早期実現に向けて取り組んではどうか。

市長 これからは思い付きではだめなので、三役会議やその他の機関会議をもっと機能化し、責任をもって打って出る方向に考えていきたい。

榎本議員 国は、総合特区制度を設けている。地域経済を活性化するため、観光の分野で取り組んでみてはどうか。

財務課長 観光や北高跡地などを核としながら、申請する方向で、鋭意努力している。

土木・建築工事

榎本議員 入札の指名願の申請は、市内業者の場合毎年で、市外業者の場合は2年に1度になっている。市内業者が毎年しなければならぬ理由は何か。

財務課長 まず、税の問題だ。滞納がないかを確認する。次に、主任技術者の問題だ。経営審査の点数が変更になる。こう



いったことが理由に挙げられる。
榎本議員 八屋中学校の外壁落下防止工事を、なぜ夏休みが終わったこの時期に行うのか。
教育課長 夏休みを利用して工事に着手したかったが、設計担当部署がほかの業務も抱えており、工事発注がずれ込んでしまった。

磯永議員 授業に支障がないように、また工事中事故が起こらないようにするのが、行政の責任だ。この点をどう考えているか。
市長 当然夏休みにすべきだと思う。事故の起こらないよう努めたい。

磯永議員 この数年、市が発注する工事は、市外業者が受注するケースが多いようだ。市内業

者であれば、税金も納めていた
 だけ。地域活性化のためにも
 地場産業の育成を図ることも考
 慮すべきではないか。
財務課長 大型の建築工事では、電気・機械・本体工事というように分離発注するなどしている。地元業者の育成という面から、指名委員会等で検討したい。

水道事業

磯永議員 今年度に入ってから配水場の運転管理と水道料金の検針・集金業務を民間委託しているが、今までと比べて、どれだけ経費節減になるのか。
上下水道課長 行財政改革の一環で、平成17年度から21年度までの5か年で人員の削減等経費節減を図ってきた。

磯永議員 前年度と今年度を比較すると、予算が増えている。経費節減になっていないではないか。
上下水道課長 職員の削減を先行し、その後に民間委託をしたので、そういうことになっている。これで、今まで十分には取り組めなかった水道への加入促進等経営改善に向けて推進できる体制になった。

学校教育

榎本議員 教育委員会に指導主事が配置され、課長補佐を兼務しているが、その根拠は何か。
教育長 県教育委員会からの派遣は18年度で廃止され、19年度からは、市の負担で指導主事を配置しなければならなくなった。教育委員会は、社会教育・学校教育を所管しており、職員を指揮・監督する必要もあることから、総務課と協議の上課長補佐が相当ということになった。

榎本議員 行政経験のない人が指導主事として教育委員会に来て、いきなり課長補佐として教育行政全般について職員を指揮・監督するというのは、難しいのではないか。
市長 各自治体に、学校教育関係から出向している。県の要請を受けて、対応している。

磯永議員 通学路沿いの危険家屋への対応について、再三質問をしてきたが、その後の調査についてお聞きしたい。
教育課長 環境課と現地調査をし、危険性の高い廃屋については、所有者に文書を送付するとともに、学校に対しては、注意

するよう通達している。
磯永議員 学校側に、「注意してください」と言うだけでは、なんの解決にもならないのではないか。
教育長 危険家屋の所在地は知らせている。危険家屋がそのまま放置されるということであれば、迂回路を考えるなど指導していきたい。

同志会の質問

環境問題

福井議員 現在、世界的に地球温暖化対策が行われている中、政府は、太陽光発電パネルの設置費用を補助するなど、学校のエコスクール化を進めている。豊前市も、小・中学校に太陽光発電を設置したらどうか。
教育課長 平成21年度、国の緊急経済対策の中の、文科省のスクールニューデール構想に基づき、第一に、児童・生徒の安全を考え、学校の耐震化を行い、順次、学校のICT環境整

備のための地上デジタルテレビ・コンピュータ設置及びLAN整備を進めてきた。今後も、残りの学校の耐震診断・工事を優先的にやりたい。
福井議員 国からの補助金があるうちに、事業を行った方がいいと思うがどうか。
教育課長 豊前市では、国からの補助金がある、学校の耐震化、環境整備を最優先に進めていく。それが終わり次第、太陽光発電についても考えていきたい。

福井議員 事業の優先順位があるとは思いますが、市としても、いち早く取り組んでもらいたい。
渡辺議員 太陽光発電は、市の電気代の節減にもなると思う。環境にも良いし、ぜひ設置してほしい。

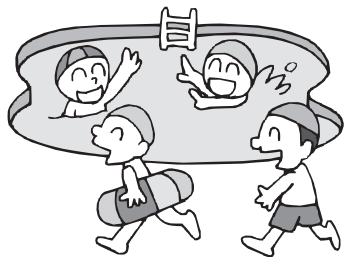
市民プールの運営

爪丸議員 市民プールの監視体制は万全であるのか。また、利用者からの苦情等はあるのか。
教育課長 プール監視業務は、警備会社に委託している。監視員は、水上安全救助資格や救助訓練を受けている者で、6名が常駐し、うち1名は交代要員である。また、ボランティアで非

番の消防署員が監視員として手
伝っている。苦情については、
今年度はあがっていない。

爪丸議員 ある保護者から、監
視体制について苦情の相談があ
った。監視台に座っていない、
言葉遣いが悪い、居眠りをして
いた、などであったが、如何な
ものか。

教育課長 監視中の居眠りなど
言語道断である。議員からのご
指摘を受け、今後、監視業務に
ついて厳しく指導していきま
い。



豊前市の財政問題

爪丸議員 財政健全化法による
4つの指標について、監査報告
では健全であるとの報告だが、
当市における状況を伺いたい。

財務課長 平成21年度について
は、
・実質公債費比率は14.7%

(県平均値は13.0%)
・将来負担比率は117.3%
(県平均値は73.1%)

となつている。健全な範囲内
はあるが、県平均値に比べると
少し高い状況にある。

※(一)内の数値は平成20年
度の数値

爪丸議員 企業誘致の際、固定
資産税が減免措置されている
が、期間はいつまでか、また、
減免措置期間終了後の税収はど
うなっているのか。

税務課長 東部工業団地の、農
村地域工業導入促進法に基づく
固定資産税の課税免除だが、免
除期間は新增設から3年間で、
免除額は約4,630万円であ
る。

爪丸議員 上下水道事業の起債
だが、年々、債務残高は減つて
きてはいるが、借入れの金利は
どうなっているのか。

上下水道課長 7%~5%の利
率の高いものから繰上償還等を行
った。現在残っている利率は、
水道事業で1.08%~4.7
5%。下水道事業で1.10%
~4.40%となっている。

爪丸議員 高い金利について
は、借換えが必要ではないか。

上下水道課長 起債について
は、政府資金ということで、容
易には繰上償還ができず、政府
の許可が必要である。繰上償還

に関しては、国へも要望をして
いる。

爪丸議員 今後、伊良原ダムか
らの水も購入するとなると、水
道事業会計が圧迫される。使用
水量を増やすために、営業努力
はしているのか。

上下水道課長 水道の普及に対
しては、水道の安全性等をPR
しながら、職員が1軒1軒、普
及活動に回っている。今後も努
力していきたい。

爪丸議員 一部事務組合の負担
金だが、年々、減つてはいる
が、平成21年度、吉富町外一市
中学校組合の負担金は、1,0
00万円ほど増えているがなぜ
か。

教育課長 吉富中学校の給食室
の増改築工事と耐震工事があり
支出が増えた。

爪丸議員 市の財政だが、一部
事務組合も含め、債務残高を減
らしていくことがポイントだと思
う。今後の財政健全化に向け
たビジョンを聞きたい。

財務課長 平成21年度末の一般
会計、公営企業会計、一部事務
組合等の借金残高は、総額にし
て195億7,000万円ある。
まずは、単年度の収支の均
衡を図り、赤字を出さないよう
にする。各事業の最適投資に心
がけ、持続可能な財政運営をし
ていきたい。

新世会 の質問

学力の向上

今本議員 豊前市の児童生徒
の学力は低い。学力向上に向
けたアイデアはないのか。

教育長 各学校では「学力向上
プラン」を策定し、習熟度別の
少人数指導やチームティーチン
グの指導に取り組んでいる。そ
の他、学力の基礎を培う活動と
して、朝読書・漢字や英単語・
基礎計算等の補充学習時間を設
けている。家庭との連携も重要
で、家庭学習の習慣を定着させ
ることも試みている。

今本議員 小中学校の学習指導
要領だけではダメである。土曜
日開校や英語活動など、他市町
村の教育も参考にして学力向上



に努めてほしい。また、学力を
身に付けるためには、生活習
慣・学習態度をきちんとするよ
う、指導してほしい。

介護保険制度

今本議員 介護保険の認定のあ
り方についてお聞きしたい。

福祉課長 平成21年度より認定
方法の見直しが行われた。本市
ではこの見直しにより、要介護
区分が軽度化するという傾向は
なかった。今後、福岡県介護保
険広域連合としては、認定の判
断基準の標準化、適正化に取り
組んでいきたいとのことだ。

今本議員 認定するにあたって
は、個々の高齢者の実態にあつ
た視点で審査してほしい。

有害鳥獣対策

山崎議員 狩猟する会員の育成
や高齢化対策について、その後
の対策を伺いたい。

農林水産課長 昨年度から、集
落単位で獣害対策として、比較
的取得が容易なワナの免許をお
願いし、新しく3名の方が取得
した。有害鳥獣駆除をする上で

は、地元の協力が必要である。今後も支援、指導をしていきたい。

山崎議員 駆除隊と農林水産課またJA等の協力も得て、効率的な駆除の方法を考えてほしい。また、駆除した肉の加工等のみやこハムにお願いし、特産品としてブランド化したらどうか。

市長 市の特産品研究会に、みやこハムが入っており、中津市との連携をとっているみたいなので、相談にいきたい。

山崎議員 他の市町村では、狩猟免許講習の1/2補助や狩猟期に一般の人への捕獲に対する助成など、捕獲に対する助成を行っているところがある。豊前市も実施してはどうか。

農林水産課長 現在、豊前市では駆除隊にお願いしているが、それについては、内部協議したい。

耕作放棄地対策

山崎議員 耕作放棄地対策協議会の状況について伺いたい。

農委局長 協議会は、本年3月に設立した。貸手農家への潜在農地の掘り起こしを行い、担い手農家等への集積を図るため、農地情報台帳への登録を呼びかけている。また、耕作放棄地の

苦情の対応として、適正管理の要請と草刈業者の紹介を行っている。

山崎議員 協議会の会員はどうなっているのか。

農委局長 事務局が農業委員会で、農林水産課・JA・京築普及指導センターが会員である。

山崎議員 再生できる水田については、意欲的な建設業者などに呼びかけをして、耕作放棄地の再水田化に取り組んではどうか。

農林水産課長 農業参入について、業界への働きかけをしたい。

山崎議員 耕作放棄地への対策として、補助金などを活用した再生への取り組みを実施してはどうか。

農林水産課長 いろいろな人に対して、作付けをお願いしている。また、JAの普及センターが窓口となり農業塾に取り組む予定だ。

健友会の質問

職業訓練センターの存続に向けたその後

古川議員 存続に関して、市長は6月議会で「存続させる」と

答弁したが、その後の状況をお聞きしたい。

まちづくり課長 県より譲渡価格は無償であるとの通知があり、譲り受けの意思確認を11月未までに行うとのことだ。

古川議員 建物などは無償なので譲り受けは簡単だが、運営に関しては、豊前市だけでは難しいと思う。どのようなやり方で運営をするのか、お聞きしたい。

まちづくり課長 周辺自治体と協力しながら運営する考えだ。今後、センターと十分協議し、周辺市町にお願いする方針だ。



職業訓練センター

定住自立圏の動き

古川議員 定住自立圏構想で取り組む事業が「小児救急センター事業」と「公共交通事業」と

「マネージメントセミナー事業」の3点と聞く。「マネージメントセミナー事業」とは、どのような事業を実施するのか、お聞きしたい。

総務課長 圏域自治体職員の資質向上のための合同研修を計画している。

古川議員 吉富中の生徒は中津の高校に進学できるが、市内の中学の生徒はできない。定住自立圏構想の枠組みで、豊前市から中津の高校に進学可能とすることはできないのか。

教育課長 その件に関しては、定住自立圏構想の枠組みに入れることは出来ない、総務省より聞いている。

消防について

古川議員 私も消防団に属しており、先日の火災で消防本部指示の現場に急行したが、現場が分からなかった。緊急時にそのようなことでは困る。消防本部の今後の対応をお聞きしたい。

総務課長 今回の件は、土地勘のない人が携帯電話から通報したために現場が特定できなかった。今後は、このようなことが起こらないように注意することだ。

公営企業業務の外部委託

尾家議員 昨年まで、配水場の業務や検針業務をシルバー人材センターにお願いし、経費削減に努めていたのに、なぜ民間企業に業務を委託したのか、お聞きしたい。

上下水道課長 高齢者の雇用に關する法律に「高齢者は指揮や命令を受けてはならない」とあり、配水場や検針業務などはシルバーの業務になじまないと判断したため、民間企業に業務委託した。

消防団配属の消防車

尾家議員 6月議会でも質問をしたが、地域の実情を考慮した消防車の配備が必要と思うが、執行部の考えは変わらないのか、お聞きしたい。

総務課長 複数台所有の分団については、中核はポンプ車、その他は軽の積載車と消防委員会や分団長会議で協議した結果であり、今のところ変更の予定はない。

尾家議員 水源からの距離など

地区の特性を考慮した配備が必要だが、市長の考えを伺いたい。
市長 総務課長が答弁したとおりだ。

高齢者問題

吉永議員 先日、新聞等で報道された戸籍上でまだ生存している人の正確な人数を、お聞きしたい。

市民健康課長 豊前市では、120歳以上が11人いると公表したが、その後の調査で、100歳以上が158人いることがわかった。

吉永議員 なぜ、戸籍がそのような状態のままになっているのか、お聞きしたい。

市民健康課長 理由としては、海外に移住した後に死亡し、死亡の通知がなされなかった場合や身元不明のまま死亡、または戦死などが考えられる。

公契約条例

吉永議員 この公契約条例については、3月、6月議会で質問をしてきたが、その後の取り組み状況を伺いたい。

副市長 先進地である千葉県野田市でさえ、条例の一部改正を検討していると聞く。今暫く、先進自治体の動向を注視しながら検討して行きたい。

吉永議員 豊前市は、いろんな面で他市の後追い行政になっているように感じる。近隣の団体に先駆けて、この条例の策定に積極的に取り組んでもらいたい。

市立図書館

吉永議員 私の手元に市立図書館の管理運営に関する事業報告書がある。それには、支出額として1960万円が計上されているが、市の予算2500万円と異なる理由を伺いたい。

教育課長 毎年、図書を約600万円分購入している。その図書については、市の財産となるため事業報告書に計上されていないためだ。

吉永議員 この図書館問題については、会計年度が異なるための決算額の相違や職員数に関して、たびたび質問してきた。世間では指定管理者の破綻や撤退などを聞く。平成22年度末で3年間の契約が終了するので、指定管理を継続すべきかを含めて検討してもらいたい。

無党派の質問

高齢者の諸問題

鎌田議員 敬老祝金の支給方法について教えていただきたい。

福祉課長 77歳、88歳、99歳それから100歳以上の方に買物券を支給している。住民基本台帳から名簿を作成し、区長さんに確認いただいて、支給する。

鎌田議員 本人が死亡しているのに、渡したケースなどないか。

福祉課長 そういう話は聞いていない。

鎌田議員 高齢者の所在不明を防ぐことを目的とした、地域の見守り活動について、鳥取県は、新聞販売店や宅配便、農協、郵便局などと協定を結び、独居世帯の安否を確認できるよう取り組んでいる。豊前市も採り入れてはどうか。

福祉課長 豊前市では、地域介護予防活動支援事業として、民生委員、老人クラブなどと連携し、高齢者世帯宅への戸別訪問により安否確認と社会活動への参加呼びかけなどに取り組んでいる。

いる。
鎌田議員 特別養護老人ホームへの入所待機者が多いようだが、どのような対策をとっているのか。

福祉課長 県の介護保険事業計画では、平成23年度末までに京築管内で50床が整備される予定があるとのことだ。

鎌田議員 市は、もっと在宅介護の支援や介護予防に力を入れるべきと思う。

鎌田議員 権利擁護事業の利用状況について、お聞きしたい。

福祉課長 平成18年から現在まで利用者1名で、相談件数は22年度は8月末までで4件となっている。

鎌田議員 これでは勿体ないので、ぜひ周知徹底してほしい。

権利擁護事業とは？

現在は、「日常生活自立支援事業」と呼ばれていますが、認知症や知的障害などで、日常生活にお困りの方のために、お金の出し入れや通帳の預かりなどをお手伝いする事業です。

鎌田議員 小・中学校の介護施設での職場体験実習について、お聞きしたい。

教育長 中学校は、いずれも実施している。小学校は、主に保育園あるいは、障害者施設と交流している。

鎌田議員 高齢者との交流は、高齢者はとても喜び、子どもには思いやりの心が育つので、是非もっと推進していただきたい。

社会基盤老朽化への備え

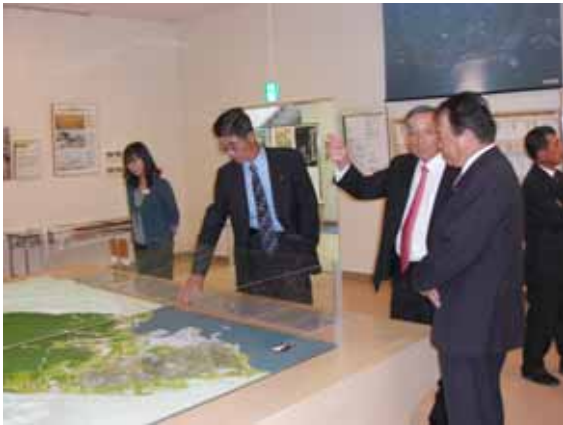
鎌田議員 高度成長期に集中して整備された道路や橋などの社会資本が老朽化し、これからの大きな課題になると思う。国は長寿化計画を進めているようだが、豊前市の対応はどうか。

財務課長 自治体が保有する施設については、適正な管理計画を策定し、施設の長寿化と更新時期の平準化が求められている。今年度は、公営住宅の長寿化計画の策定に取り組んでいる。

建設課長 橋については、市が管理しているものは306あり、そのうち、50年を経過しているものは約2%ある。長寿化計画を策定して、緊急度の高いものから整備をしていきたい。

ここに掲載した一般質問は、実際のやりとりのごく一部です。詳細については、会議録（議会事務局またはホームページ）をご覧ください。

全国から視察あいつづく



埋蔵文化財センター視察



議会基本条例についての研修

議会基本条例と 議会運営について 活発に意見交換

【視察日】
平成22年10月5日(火)

【来庁議会】
熊本県玉名市議会

【視察目的】
議会基本条例等について

10月5日に熊本県玉名市議会の議会運営委員会委員、議長、副議長合わせて8人が行政視察のため来庁され、議会基本条例や議会運営について視察研修を行いました。

この研修では、これまで当議会が取り組んできた議会基本条例を中心とした様々な議会改革について説明し、「もっと身近で開かれた議会」の実現に向けて活発な意見の交換がなされました。

その後、北高跡地の埋蔵文化財センターなどを視察しました。

視察 受入れ状況

来庁の市議会	日程	視察内容
静岡県磐田市議会	10月19日(火)	議会基本条例及び議会運営について
千葉県印西市議会	10月22日(金)	議会基本条例について
大阪府藤井寺市議会	11月4日(木)	廃校利用について(もみじ学舎)
岡山県笠岡市議会	11月11日(木)	議会基本条例について

次の定例市議会は12月です

■ 議会を傍聴しましょう ■

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

■ 会議録閲覧のお知らせ ■

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたいかたは、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

編集後記

今年の夏は近年にない猛暑が続き、まだ寒露が過ぎても暑さが続いています。今や、日本国が、いや世界がエコ、環境問題、温暖化防止などを呼びかけています。

ここ豊前地域では、田畑が渇水に見舞われるようなことはなかったようですが、人は喉が渇き、水を欲しがらる暑さで、何人もの方々が熱中症等で倒れ、自動販売機の飲み物も売り切れになるほどの出回りようでした。

ここ豊前市でも温暖化防止対策として、森林環境税や補助金を活用して森林の再生がなされ、森林は癒しの場として人に親しまれ、沢山の水を貯える力を持っています。そこから流れ出ていく水はプランクトンを含み浄化され、自然と川に流れ、農家の人達を助け、最後に海へと辿り着き、漁場を潤し、市民の食生活に欠かせない役目を果たします。

これからは、自然や物の大切さを考えていきたいと思えます。

岡本清靖

◆ 発行:豊前市議会 ◆ 編集:編集委員会 ◆ 印刷:上森印刷所

編集委員 | 委員長 山本章一郎 / 副委員長 鎌田晃二 / 委員 今本文徳・岡本清靖・福井昌文